

## 使用上の注意改訂のお知らせ

HMG-CoA 還元酵素阻害剤

処方箋医薬品<sup>注)</sup>

日本薬局方 アトルバスタチンカルシウム錠

**アトルバスタチン錠5<sub>mg</sub>「杏林」**

**アトルバスタチン錠10<sub>mg</sub>「杏林」**

ATORVASTATIN Tablets

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

2023年11月

製造販売元

**キョーリン Remedio株式会社**

富山県南砺市井波885番地

このたび、アトルバスタチン錠 5mg「杏林」/アトルバスタチン錠 10mg「杏林」の電子化された添付文書（以下、電子添文）の「使用上の注意」の記載内容を改訂しましたのでお知らせ申し上げます。

今後のご使用に際しまして、下記の内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

### 1. 改訂内容（下線部 改訂箇所）

改訂後			改訂前		
10.2 併用注意（併用に注意すること）			10.2 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
—省略—			—省略—		
レテルモビル	レテルモビルとの併用により本剤の血漿中薬物濃度が上昇した (C <sub>max</sub> : 2.17 倍、AUC <sub>0-∞</sub> : 3.29 倍) との報告がある。	機序: レテルモビルによる CYP3A、OATP1B1/1B3 及び BCRP の阻害が考えられている。	レテルモビル	レテルモビルとの併用により本剤の血漿中薬物濃度が上昇した (C <sub>max</sub> : 2.17 倍、AUC <sub>0-∞</sub> : 3.29 倍) との報告がある。	機序: レテルモビルによる CYP3A、OATP1B1/1B3 及び BCRP の阻害が考えられている。
フチバチニブ	併用により本剤の血中濃度が上昇し、副作用が現れやすくなるおそれがある。	機序: フチバチニブによる BCRP の阻害が考えられている。	—省略—		
—省略—			—省略—		

### 2. 改訂理由

相互作用相手薬との整合性を図るため、「併用注意」の項に「フチバチニブ」に関する記載を追記いたしました。

- 改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE 医薬品安全対策情報」に掲載の予定です。
- 最新の電子添文は、下記ホームページでご参照くださるようお願いいたします。

PMDA ホームページ

<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuSearch/>



弊社 医療関係者向け Web サイト

<https://www.med.kyorin-rmd.com/>



- 「添文ナビ<sup>®</sup>」を用い、下記 GS1 コードを読み取ることで最新の電子添文等が閲覧できます。

アトルバスタチン錠 5mg・10mg「杏林」



(01)14987060304916



医療関係者向けWebサイト

<https://www.med.kyorin-rmd.com/>

本件に関する  
お問い合わせ

キョーリン リメディオ株式会社 学術部

TEL 0120-960189

FAX 0120-189099